

④ 新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

宇都宮産の梨を使った紅茶の開発と、おもてなし紅茶文化の普及促進事業

地元産和梨を使い、素材の良さを活かした風味豊かな紅茶のブレンド技術の開発と紅茶文化拡大を行う。

連携体

農林漁業者 **山口果樹園（農業）**

味質や香りにこだわる紅茶に適した梨（果皮・果肉）を生産し、果皮・果肉の乾燥加工により紅茶の素材を提供する。

中小企業者 **ワイズティーネットワーク(株)（飲食料品小売業）**

宇都宮産梨によるフレーバーティー「おもてなし紅茶」を開発し、宇都宮市の「おもてなし紅茶」として企画・販売を行う。

連携参加者 **うつのみやアグリネットワーク**

宇都宮市、宇都宮商工会議所が主催する農商工連携支援のグループとして、「おもてなし紅茶」の普及に協力する。

サポート機関等 **地域活性化支援事務局、栃木県農業振興公社、宇都宮商工会議所**

連携の経緯

ワイズティーネットワーク(株)が「梨のおもてなし紅茶」を開発・商品化するためには、山口果樹園が取り組む、梨の高付加価値化の取り組みと、生産する良質の梨及び皮・果肉の乾燥技術が、新しく開発する紅茶のフレーバーとして必要不可欠であることから、連携に至った。

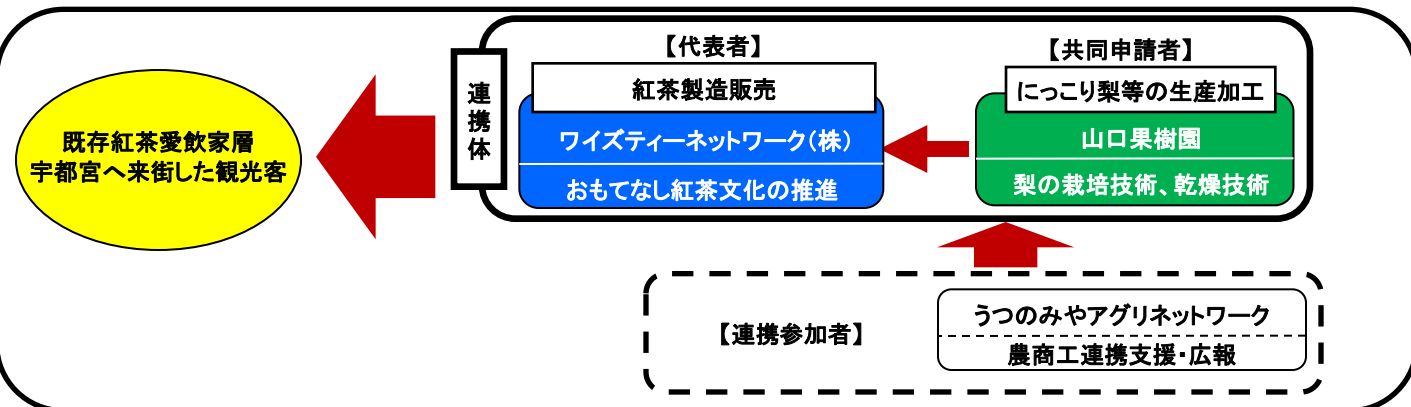
連携に当たっての課題や工夫等

今まで水分が多く乾燥することが難しいとされた梨を、新しく開発する紅茶フレーバーのベースとするため、皮をむき、乾燥させた皮を提供する。また果肉についても乾燥させ、乾燥果実として提供する。さらに需要の開拓には「宇都宮のおもてなし紅茶」としての情報発信を行い、新たな紅茶消費者の開拓、宇都宮市へ来街した観光客をターゲットとして事業転換を図る。



宇都宮にっこり梨

フレーバー茶葉



連携による効果

農林漁業者 **3年で250万円の売上高増加、顧客層の拡大と収益性の改善**

梨の新規需要と付加価値を高めた商品の開発で安定した販売と、新たな販路先の確保ができる。

中小企業者 **3年で900万円の売上高増加、収益性の改善**

新たなフレーバー紅茶の開発販売と「おもてなし文化事業」展開を図ることにより売上増加と収益性の改善が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：ワイズティーネットワーク株式会社 所在地：栃木県宇都宮市曲師町5-3 タキヤビル2階
 TEL：028-639-6601 FAX：028-639-6601
 E-mail：yasumasa@y-tea.com ホームページ：http://www.y-tea.com/